

## ご声援ありがとうございました

さまざまな制約の中で、子供たちが精一杯練習し、準備してきた「丸小フェスティバル」でした。その成果を、ぜひ保護者や地域の皆様にご覧いただきたかったのですが、あいにくの雨で、土曜日、日曜日ともに実施できませんでした。

それでも、延期して実施した19日火曜日には、平日にもかかわらずたくさんの保護者の皆様に駆けつけていただき、子供たちにとって大いに励みになりました。平日の実施、限られた応援スペース、感染症対策という点では、いろいろとご理解とご協力いただきありがとうございました。

子供たちは、これまでの練習の成果を出しきり、皆満足げにしていました。また、ご来場いただいた皆様からは、「感動しました」「お疲れさまでした」の声を多数いただき、子供たちはもとより、我々教職員も報われた思いがしました。

子供たちは、目標が持てたときに前向きに努力し、その成果を実感し、それを認め褒めてもらうことで、次なる高みを目指していきます。その意味で、学校生活の中でアクセントになる、今回のような学校行事をこれからも大切にしていきたいと思えます。これまでのご協力に感謝いたします。



## 校外学習・修学旅行が続きます

「丸小フェスティバル」の翌日には、3年生の校外学習と、1泊2日の5年生蔵王合宿がありました。いずれも、子供たちがたいへん立派で、学びと成長が感じられたと聞いています。この後の1、2年生の社会見学や、6年生の修学旅行もきっと実りの多い行事になることと思います。



5年生の不忘山登山。とてもきつい山ですが、全員が展望のよい9合目まで登りました。



3年生の科学館見学。筆甫小の3年生とも交流できました。

---

## 脳を鍛える

---

前回と同じく、川島隆太教授の「スマホが学力を破壊する」という本からの話です。

文の中に「ITを使うと前頭前野は働かない」という一節があります。前頭前野とは、脳部位の中での「脳の司令塔」と呼ばれ、意思や計画性、判断、創造、記憶、抑制、集中など、人間の行動のキーになる働きを司っています。人の脳は、乳幼児期は未発達ながら、様々な生活経験や学習を通して、この前頭前野を発達させていくところが、他の動物と大きく違うところです。

私たち大人も、ワープロの発達とともに漢字を書けなくなったと実感する人は多いのではないのでしょうか。子供も同じで、覚えなくてもITが漢字を出してくれたり、変換してくれたりすれば、脳は覚える必要がないと認識してしまい、結果的に脳が活性化せず、発達しないというのです。これは、漢字ばかりでなく、他の調べ事も同様で、パソコンやタブレットで簡単に検索できてしまう環境にあると、やはり前頭前野は働かないのだそうです。学校でも、子供たちによくタブレットを使わせていますが、このことは、私たちもしっかりと認識しておく必要があります。

**前頭前野は「いつもと違う」刺激や人との関わりで活性化する**(上述書より)

10月中旬から下旬にかけて、学校では大きな行事が続きました。運動会直後、5年生の蔵王合宿の結団式で、私は、次のように話しました。

「行事が続き、落ち着いて授業ができない日が続いたと思うが、学習面での遅れは心配していない。」「運動会や、合宿など、大きな目標に向かって、全力で頑張ることが大事で、それができれば、勉強でも他のことでも結果はついてくる。」「合宿を通して、頑張ることが楽しいと思えるようになってほしい。」

1泊2日の短い時間でしたが、5年生の子供たちはこの間、全身と五感をフルに働かせ、非日常の世界を存分に体験しました。この活動は、間違いなく前頭前野を全面的に活性化させ、表題の「脳を鍛える」ことにもつながったと思います。私は、2日目の登山に同行しましたが、終始「頭を使って歩け」とアドバイスしました。単純な動作と思われがちな登山こそ、実はぬかるみや岩を避けながら脳をフル稼働させ、それを1日中続けるという点で、体と共に脳も大いに鍛える活動なのです。このような自然体験活動や社会体験活動は、丸森小のこれからの教育の中でも特に大切にしていきたいと考えています。

ただ、これらの行事は、学校生活の中ではあくまでも脇役であり、日常の教育活動の中のカンフル剤にすぎません。子供たちにも話しましたが、大切なのは普段の学校生活に生かすことです。

脳も体も積極的に使わない状態を、ヒトは楽で便利と感じます。そして、楽で便利なおことに価値を見出し、それを追求してきました。一方で、それが結果として、ヒトにとって大切な脳機能、身体機能、コミュニケーション能力の低下につながっているという指摘があります。ITのスキルも大切ですが、少なくとも成長期にある子供のうちは、生きる力のもとになる健康な身体と豊かな感性、そして何よりもしっかりとした「脳の力」を鍛えてあげたいと思うのです。